

令和2年度 事業報告書

社会福祉法人 直方市社会福祉協議会

事業概要

1 法人運営部門

(1) 理事会等の運営

理事会、評議員会は、新型コロナウイルスの感染拡大を防止する観点から、例年になく決議の省略の方法による開催が多くなったため、法人運営に支障がないよう実施した。また、財務会計では専門家の支援を受け適切な会計処理に努めた。

① 正副会長会議

名 称	実施日	出席者	内 容
第 129 回正副会長会議	5 月 15 日(金)	会長 1 名 副会長 2 名	協議事項 1 第 280 回理事会について 2 第 204 回評議員会について
第 130 回正副会長会議	8 月 5 日(水)	会長 1 名 副会長 2 名	協議事項 1 ホームヘルプサービスの利用者増への対応について 2 福祉まつりの開催について 3 第 281 回理事会について その他 1 社会福祉協議会活性化検討担当者会議について 2 直方市生活困窮者自立支援事業について
第 131 回正副会長会議	12 月 2 日(水)	会長 1 名 副会長 1 名	協議事項 1 第 283 回理事会について 2 理事候補者について 3 (仮称) 直方市保健福祉センターについて その他 1 中央公民館の休館について
第 132 回正副会長会議	3 月 9 日(火)	会長 1 名 副会長 2 名	協議事項 1 令和 2 年度収支予算の 2 次補正について 2 規程等の見直しについて 3 直方市体育館の改修工事による事業の影響について 4 苦情解決第三者委員の任期満了に伴う選任について 5 役員等賠償責任保険契約について 6 令和 3 年度事業計画及び収支予算について 7 第 284 回理事会について 8 第 206 回評議員会について その他 1 訴訟について 2 6 月の役員等一斉改選について

② 理事会

名 称	実施日	出席者	内 容
第 280 回理事会	5 月 27 日(水)	理事 12 名 監事 2 名	理事全員からの書面による同意の意思表示及び監事全員からの異議がない旨の申し出を得たため、決議を省略した理事会 決議があったものとみなされた事項 1 令和元年度事業報告について 2 令和元年度決算について 3 理事候補者の推薦について 4 第 204 回評議員会の開催について
第 281 回理事会	8 月 24 日(月)	理事 9 名 監事 2 名	報告事項 1 会長の職務執行状況について 2 直方市シニアクラブ連合会からの手作りマスクの寄贈について 3 新型コロナウイルスの影響による特例貸付について 審議事項 1 指定訪問介護事業所、指定第一号訪問事業所運営規程等の一部改正について その他 1 直方市生活困窮者自立支援事業について 2 市民からの訴訟について
第 282 回理事会	9 月 19 日(土)	理事 10 名 監事 1 名	審議事項 1 会長の選定について その他 1 訴訟についての経過報告
第 283 回理事会	12 月 14 日(月)	理事 10 名 監事 2 名	審議事項 1 副会長の選定について 2 収支予算の 1 次補正について 3 第 205 回評議員会の開催について その他 1 保健福祉センターの建設計画について
第 284 回理事会	3 月 17 日(水)	理事 12 名 監事 2 名	理事全員からの書面による同意の意思表示及び監事全員からの異議がない旨の申し出を得たため、決議を省略した理事会 決議があったものとみなされた事項 1 令和 2 年度収支予算の 2 次補正について 2 生活物資緊急支援資金貸付規程等の一部改正について 3 役員等賠償責任保険契約について 4 令和 3 年度事業計画及び収支予算について 5 決議の省略の方法による第 206 回評議員会の開催について

③ 評議員会

名 称	実施日	出席者	内 容
第 204 回評議員会	6 月 18 日(木)	評議員 25 名	評議員全員からの書面による同意の意思表示を得たため、決議を省略した評議員会 決議があったものとみなされた事項 1 令和元年度事業報告について 2 令和元年度決算について 3 理事の補欠選任について
第 205 回評議員会	12 月 23 日(水)	評議員 16 名 会長 1 名 副会長 1 名	報告事項 1 副会長選定の結果について 審議事項 1 収支予算の 1 次補正について
第 206 回評議員会	3 月 25 日(木)	評議員 25 名	評議員全員からの書面による同意の意思表示を得たため、決議を省略した評議員会 決議があったものとみなされた事項 1 令和 2 年度収支予算の 2 次補正について 2 令和 3 年度事業計画及び収支予算について

④ 監事会

名 称	実施日	出席者	内 容
監 事 会	5 月 11 日(月)	監事 2 名	1 令和元年度事業報告について 2 令和元年度収支決算について

(2) 委員会

名 称	実施日	出席者	内 容
第 1 回歳末たすけあい配分委員会	9 月 24 日(木)	委員 5 名	1 令和元年度歳末たすけあい募金配分計画について 2 令和 2 年度歳末たすけあい募金配分計画について
第 2 回歳末たすけあい配分委員会	12 月 2 日(水)	委員 4 名	1 令和元年度歳末たすけあい募金配分計画について 2 令和 2 年度歳末たすけあい募金配分計画について

(3) 専門家による財務会計の支援

名 称	実施日	出席者	内 容
四半期巡回指導	8 月 5 日(水) 8 月 6 日(木)	5 名	山口税理士事務所から、令和 2 年度 (4 月から 6 月分)の会計処理に関する指導を受けた。
四半期巡回指導	10 月 26 日(月)	5 名	山口税理士事務所から、令和 2 年度 (7 月から 9 月分)の会計処理に関する指導を受けた。

四半期巡回指導	1月25日(月)	5名	山口税理士事務所から、令和2年度(10月から12月分)の会計処理に関する指導を受けた。
四半期巡回指導	4月27日(火)	5名	山口税理士事務所から、令和2年度(1月から3月分)の会計処理に関する指導を受けた。

(4) 役職員研修の実施

計画的な人材育成では、外部研修への参加に加え職員を講師とした、内部研修を実施することができた。さらに充実した研修機会が確保できるよう年間予定計画に基づき実施していく。

研修名	実施日	人数等	内 容
第1回職員研修	6月24日(水)	4名	内容：直方市社会福祉協議会の法的位置づけや財政について
市区町村社協会長・常務理事・事務局長研修会	12月4日(金)	2名	説 明 1 令和2年社会福祉法改正を踏まえた社協の取組(重層的支援体制整備事業等) 2 市町村社協委員会の取組 3 市町村社協の現状と課題～個別台帳調査～ 4 災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定書・令和3年度に向けた災害福祉支援センター構想 5 日常生活支援事業の不祥事の発生防止の徹底 講 演：地域共生社会の実現に向けた協働の中核を担う組織を目指して～市町村社協委員会 専門委員会の取組から～ 〈講師〉 福岡県立大学 人間社会学部 教授 村山 浩一郎 氏 会 場：福岡県中小企業振興センター(福岡市)
第2回職員研修	12月15日(火) 12月16日(水)	12名	内容：福岡県地域福祉活動職員連絡会主催研修 「コロナ禍における社協活動の方向性」についての情報共有及び意見交換

2 地域福祉活動推進部門

(1) 福祉教育・啓発活動

新型コロナウイルス対策のため、よこいと運動会や福祉まつり等の密を避けられないイベントは中止した。地域福祉セミナーはコロナ対策をしながら実施した。次年度もこの状況は続くと考えられるので、国や県や市の状況を参考に、実施の可否を検討する。

① 広報・啓発紙の発行等

種 類	実施日	人数等	内 容
社 協 だ よ り	6、9、12、3月	—	第186～189号 市内全戸配布
点字版・墨字版 社 協 だ よ り		100部	点訳サークル「きつつき」に作成を委託し、市内の希望者に配付した。
ホームページの運営	通 年	4,579回	事業・サービス案内、各種情報等を掲載した。 延べアクセス数：5,173回 閲覧ページ数：18,860回

② 福祉教育

種 類	実施日	人数等	内 容
地域福祉セミナー	3月20日(土)	25名	「知るとできることがある ～児童虐待と里親制度～」 講師：福岡県田川児童相談所 里親・施設課長 炭谷 一毅氏 田川湯山荘 里親支援専門相談員 山中 明仁氏 誠慈学園 里親支援専門相談員 後藤 めぐみ氏

③ 社会啓発行動

事業名等	実施(予定)日	人数等	内 容
第 4 5 回 よこいと運動会	6月7日(日)	—	左記のとおり予定していたが、新型コロナウイルス対策のため中止
福 祉 ま つ り 実 行 委 員 会	—	—	新型コロナウイルス対策のため中止
福 祉 ま つ り	10月25日(日)	—	左記のとおり予定していたが、新型コロナウイルス対策のため中止
日曜出合いの広場 「もちつき会」	12月20日(日)	—	左記のとおり予定していたが、新型コロナウイルス対策のため中止

④ 実習生・視察研修等の受け入れ

学校名等	期 間	人数等	内 容
福 岡 県 立 大 学	8/24～9/25	2名	社会福祉士養成課程 相談援助実習(24日間)
麻生医療福祉 専門学校福岡校	11/2～12/4	1名	社会福祉士養成課程 相談援助実習(24日間)
大原保育医療福祉 専門学校福岡校	1/12～2/12	1名	社会福祉士養成課程 相談援助実習(24日間)

⑤ 学校の福祉教育の支援

学校名等	実施日	人数等	内 容
市内小学校の実施する総合的な学習の時間への協力	12月3日(木) 12月8日(火) 2月16日(火)	上頓野小4年	当事者やボランティア団体と学校のコーディネートを行った。 また、当日は学校を訪問し、授業のサポートを行った。 2月16日については、新型コロナウイルス対策の為中止となった。

(2) 小地域福祉活動の支援

新型コロナウイルスの影響で、住民活動の自粛が増えた一方で、生活様式が変わり、新たな生活課題も出てきた。校区社協会長会議などを生かし、コロナ禍における住民活動のサポートを行っていく。

事業名	実施日	人数等	内 容
校区社協活動への助成	—	—	西・南・新入・下境・感田の5校区社協に活動費を助成した。うち1社協は新型コロナウイルス対策で事業が中止になったため助成を辞退した。
福祉入門教室Ⅰ (福祉人材バンク及び感田校区社協との共催)	—	—	新型コロナウイルス対策で事業が中止になったため助成を辞退した。
福祉入門教室Ⅱ (福祉人材バンク及び西校区社協との共催)	—	—	新型コロナウイルス対策で事業が中止になったため助成を辞退した。

(3) 福祉ボランティア活動の支援

新型コロナウイルスの影響で、団体及び個人ボランティア共に活動が減少した。新型コロナウイルス対策を行い、ボランティアルームの提供やボランティアのつどいを通して活動の活性化を図る。

事業名	実施日	人数等	内 容
ボランティアルームの提供	通 年	延べ 509名	提供件数：110件
ボランティア活動の登録・斡旋	通 年	—	相談件数：8件 個人登録数：33名 団体登録数：22団体
第46回直方市ボランティアのつどい	—	—	新型コロナウイルス対策のため中止
ボランティア活動保険料の助成	通 年	延べ 168名	年間保険料一人あたり、100円を助成した。
活動資材の整備・貸出	通 年	14件	綿菓子機、かき氷機、白杖、アイマスク
直方市ボランティア連絡協議会の支援	通 年	—	定例会での情報提供や同協議会主催行事に関する連絡調整等を行った。

災害ボランティア センター 運営支援	8/31～9/5	1名	令和2年7月豪雨に伴う熊本県内災害ボランティアセンターに職員を派遣し運営を支援した。
--------------------------	----------	----	--

(4) おもちゃ図書館の運営

新型コロナウイルス対策のため、7月からおもちゃの貸し出しのみで開館し、7月、12月には、季節に合わせた行事も行った。社協の建物内での遊びの広場は、再開の目途は立たないので、引き続き貸し出し開館を続ける。また、出張開館などは様子を見ながら考えていく。

業務名	実施日	人数等	内 容
通常開館 (毎週土曜日)	通年計35日	148名	1 4.5.6月は新型コロナウイルス対策のため休館 7月からおもちゃの貸出のみで開館 2 行事の開催 7月—七夕(来館者へ短冊を書いてもらう) 12月—クリスマス(来館者へミニプレゼント渡し)
出張開館	—	—	新型コロナウイルスの影響により実績無
おもちゃの貸し出し	7月～3月	132点	1日平均:約3.8点
広報紙の発行	—	—	—

(5) 当事者組織・団体、社会福祉関係諸団体との連携と支援

新型コロナウイルスの影響で、活動を自粛し、助成を辞退する団体があった。活動の自粛だけではなく、例年とは別の形での活動が出来ないか提案するなど団体のサポートを行う。また、ふくしバスは、密な空間での長時間移動を考え、乗車定員を従来の28人から14人にして運行予定だったが、新型コロナウイルスの影響で利用申し込みがなかった。

事業名	実施日	人数等	内 容
事業に対する助成	—	20団体	共同募金B枠配分金を活用
ふくしバスの運行	通 年	—	新型コロナウイルスの影響で、申し込みが無かった。
障がい者問題を考える直方市連絡会議への協力	通 年	—	定例の常任委員会での情報提供等を行った。

(6) 共同募金・歳末たすけあい運動への協力と実施

新型コロナウイルス対策のため、街頭募金では、フェイスシールドやマウスシールドを準備して実施した。大声での呼びかけを控えるため、CDラジカセを持参し、中央共同募金会が作成した呼びかけCDを流しながらの呼びかけを行った。

事業名	実施(予定)日	人数等	内 容
赤い羽根街頭募金	10月5日(月)	—	福岡県共同募金会直方市支会が実施する街頭募金に協力した。
災害非常用照明 (投光器等)整備事業	—	—	災害ボランティアセンターなどで使用するための照明(バルーン投光器)を整備した。

地域住民参加による 福祉活動助成	—	11 校区	前年度歳末たすけあい募金の一部を原資として、各校区の事業（行事）に対して助成を行った。
---------------------	---	-------	---

（７）地域における深刻な生活課題の解決や孤立防止に向けた取り組み

新型コロナウイルス対策のためつくられたコロナ特例貸付の申込者が殺到したが、丁寧且つ、効率良く対応できる体制づくりに努めた。生活困窮者の緊急支援も多く、次年度も大きな課題になるものと思われる。ひきこもり防止支援事業では、居場所支援のボランティア講座を開催した。ひきこもりフリースペースの設置へ向け取り組む。

① 生活福祉資金（県社協事業の一部受託）

業務名	実施日	人数等	内 容
相 談 (通常貸付)	通 年	119 件	生活費 78 件、生活必需品費 11 件、教育費 17 件、医療費 2 件、技能習得費 2 件、他 9 件
貸 付 (通常貸付)	通 年	33 件	決定額合計 33 件 4,460,323 円 教育支援資金 7 件 2,742,000 円 緊急小口資金 24 件 1,634,000 円 福祉資金 2 件 84,323 円
償 還 (通常貸付)	通 年	—	元金 7,355,939 円 貸付利子 53,062 円 延滞利子 221,632 円
相 談 (コロナ特例貸付)	通 年	1228 件	特例貸付 1,228 件
申 込 (コロナ特例貸付)	通 年	950 件	緊急小口資金 430 件、総合支援資金 361 件、総合支援資金延長 133 件、総合支援資金再貸付 21 件、総合支援資金延長再申込 5 件

② 生活困窮者緊急支援事業

業務名	実施日	人数等	内 容
生活物資 緊急支援 資金(貸付)	通 年	17 件	生活保護費給付までのつなぎ 15 件 102,000 円 生活福祉資金貸付までのつなぎ 2 件 13,000 円 その他 0 件 0 円 合計 17 件 115,000 円
同 (償還)	通 年	14 件	101,000 円
食の支援	通 年	4 件	(株)ランチサービス、(有)景光園の協力により、7 人(4 世帯)に対して、延べ 19 日分の支援を行った。
住居の支援	通 年	5 件	直方市母子寡婦福祉会が所有する建物（旧授産所）を賃借し、5 人(5 世帯)に対して、延べ 47 日間の支援を行った。

③ 認知症相談（協力：認知症の人と家族の会直方）、福祉総合相談

事業名	実施日	人数等	内 容
認 知 症 相 談	第 4 水曜日	19 名	訪問：2 名、面接：6 名、電話相談のみ：11 名
福 祉 総 合 相 談	通 年	17 件	家族 1 件、健康・医療 2 件、法律 0 件、福祉・教育 3 件、ボランティア 3 件、暮らし・住まい 3 件、その他 5 件

④ 男性介護者のつどい（共催：認知症の人と家族の会直方）

業務名	実施(予定)日	人数等	内 容
第 20 回 男性介護者のつどい	—	—	新型コロナウイルス対策のため中止

⑤ 居場所（フリースペース）の支援

業務名	実施日	人数等	内 容
「居場所運営協議会」の支援	通年計 3 日	各日 8～15 名	運営協議会での情報提供等を行った。

⑥ ひきこもり防止支援事業

業務名	実施(予定)日	人数等	内 容
不登校・ひきこもり 学 習 会	7 月 4 日(土)	—	左記のとおり予定していたが、新型コロナウイルス対策のため中止
ひきこもり相談	通 年	2 名	電話相談：2 件
ひきこもり居場所 ボランティア講座	1 月 24 日(日) 1 月 31 日(日)	24 日 28 人 31 日 22 人	24 日講師：医療法人富田醫院院長 富田 伸 氏 31 日講師：児童福祉施設職員 三村 吉郎 氏

⑦ 空き家管理事業

業務名	実施(予定)日	人数等	内 容
空き家管理事業	通 年	—	コロナ禍で、特例貸付の対応を優先したため、研修や調査及び関係団体への協力お願い等を行うことができなかった。

3 福祉サービス利用支援部門

(1) 日常生活自立支援事業（県社協からの受託）

1 3 名の利用者の金銭管理を行い、利用者の生活支援を行うことが出来た。支援が計画どおりにいけないケースは、支援内容の変更の必要があるかを検討し、よりよい支援を目指す。

業務名	実施日	人数等	内 容
相 談	通 年	延べ 336 件	認知症高齢者 39 件 知的障害者 117 件 精神障害者 180 件
支援計画の作成	通 年	13 名	述べ 13 名（新規利用者なし）
生活支援員業務 (金銭管理サービス)	通 年	13 名	延べ利用件数：188 件

(2) 身元保証（入院入所保証人）サポート事業

業務名	実施日	人数等	内 容
身元保証（入院入所保証人）サポート事業	通 年	—	コロナ禍で、特例貸付の対応を優先したため、関係団体への説明や協力お願い等を行うことができなかった。

4 在宅福祉サービス部門

(1) 移動送迎支援事業

新型コロナウイルスの影響で、利用件数が減ったが、感染症対策をしっかりとすることで、病院や買い物といった生活に必ず必要になる外出の支援が出来た。新規利用者の増加が少なかったため、広報を行っていく。

業務名	実施日	人数等	内 容
移 送 サ ー ビ ス	通 年	延べ 151 名	登録者数：43 名 利用件数：284 件

(2) 配食サービス事業

在宅の要介護高齢者に対し、栄養バランスの取れた食事を提供することにより健康維持を図るとともに、利用者の安否を確認することができた。新型コロナウイルス感染拡大を受け、ステイホームする人が増加し、それに伴い配食サービス新規利用者が増加した。現行の2業者（ランチサービス、景光園）では配達時間（16:00～18:00）に配り終わることができない等、問題が生じた。

事業名	実施日	人数等	内 容
直 方 市 配 食 サ ー ビ ス 事 業 (市委託事業)	月～土曜日	月平均利用者数 221 名 延べ配食数 48,338 食	夕食（弁当）を週6回（月～土）の範囲で宅配 調理及び配達：(株)ランチサービス (有)景光園

(3) 車いすの貸し出し

令和2年度から有料化（1回200円）した。

事業名	実施日	人数等	内 容
車いすの貸し出し	通 年	延べ32回 延べ34台	—

(4) 介護サービス事業

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、全国では、職員が感染した介護サービス事業所もあったが、厚生労働省作成の「介護現場における感染対策の手引き」等を参考に感染防止に努め、感染者を出すことなく事業を行うことができた。

その他、内部研修（虐待防止、接遇、感染症対策等）に加え、外部研修（認知症ケア、移乗介助の方法等）も受講し、適切なサービス提供を行うための人材育成に努めた。

① 居宅介護等事業

事業名	実施日	人数等	内 容
ケ ア プ ラ ン サ ー ビ ス	通 年	延べ 363 名	居宅において可能な限り自立した日常生活を営むことができるよう居宅サービス計画を作成し、居宅サービス事業者との連絡調整を行った。
ホ ー ム ヘ ル プ サ ー ビ ス (介 護 保 険)	通 年	延べ 138 名 延べ 169 名	要介護1～5の被保険者に対して、訪問介護サービスを行った。 総合事業として、要支援1、2及び事業対象者の被保険者に対して、訪問型サービスを行った。

ホームヘルプ サービス (障害者総合支援法)	通 年	延べ 186 名	在宅障害者の生活援助のため居宅介護サービス等を行った。
------------------------------	-----	-------------	-----------------------------

② 直方市受託事業

事業名	実施日	人数等	内 容
移動支援事業 (ガイドヘルプ)	通 年	延べ 24 名	ガイドヘルパーを派遣し、在宅障害者の移動支援を行った。
要介護認定 調査事業	通 年	延べ 142 名	要介護認定の更新を申請した被保険者のうち、委託のあった分に対して要介護認定調査を行った。

③ ケアプランサービス研修の実施

業務名	実施日	人数等	内 容
主任介護支援 専門員研修	11 月 5 日(木)	1 名	1 オリエンテーション 2 主任介護支援専門員の役割と視点
	11 月 25 日(水)	1 名	1 人権研修 2 ターミナルケア 3 ケアマネジメントの実践における倫理的な課題 に対する支援
	12 月 2 日(水)	1 名	1 人材育成及び業務管理 2 運営管理におけるリスクマネジメント
	12 月 9 日(水)	1 名	1 地域援助技術 (コミュニティソーシャルワーク)
	12 月 23 日(水)	1 名	1 ケアマネジメントに必要な医療との連携及び 多職種協働の実現
	1 月 14 日(木)	1 名	1 対人援助者監督指導 (スーパービジョン)
	1 月 27 日(水)	1 名	1 対人援助者監督指導 (スーパービジョン)
	2 月 3 日(水)	1 名	1 対人援助者監督指導 (スーパービジョン)
	2 月 11 日(木)	1 名	1 個別事例を通じた介護支援専門員に対する 指導・支援の展開
	2 月 19 日(金)	1 名	1 個別事例を通じた介護支援専門員に対する 指導・支援の展開

④ ホームヘルプサービス研修の実施

業務名	実施日	人数等	内 容
介護事業所 従事者研修	5 月 28 日(木)	9 名	1 高齢者虐待について 2 感染予防について 3 サービス内容の見直し
	6 月 25 日(木)	7 名	1 訪問介護員の接遇について 2 サービス内容の見直し
	7 月 21 日(火)	9 名	1 接遇マナーについて 2 ヒヤリハットについて 3 障害者虐待防止法について 4 サービス内容の見直し
	8 月 18 日(火)	8 名	1 緊急時の対応について 2 買い物支援について 3 サービス内容の見直し
	12 月 17 日(木)	9 名	1 事故の原因と再発防止について

	12月25日(金)		2 専門職としての職業倫理について ①プライバシーの保護 ②総合的サービスの提供と積極的な連携 ③地域福祉の推進 3 サービス内容の見直し
	12月24日(木)	1名	「令和2年度福岡県介護職員技術向上研修 ～技術向上研修Ⅱ～」 1 認知症ケアについて 2 虐待防止、身体拘束廃止と尊厳を守るケア 3 移乗介助の方法と実践 4 安全対策・事故時・緊急時の対応 場所：宗像ユリックス
	1月29日(金)	10名	1 高齢者虐待への具体的対応について 2 サービス内容の見直し

(5) 意思疎通支援事業（直方市からの受託）

新型コロナウイルスの影響で、年度当初は通訳の依頼が減った。対象者へのコロナ関連情報の発信等について、市役所との打ち合わせを密に行った。コロナウイルスの対策のため、通訳時は、利用者の了解を得て、マスクを着用した。また、対面しなくても連絡が取り合えることや、緊急時の遠隔手話通訳にも対応できるように公用携帯電話をスマートフォンに変更した。引き続きコロナウイルス対策を行う。

事業名	実施日	人数等	内 容
手話通訳者派遣	通 年	対象者数 35名	手話通訳者を派遣し、聴覚障害者と健聴者間の意思疎通支援を行った。月平均：約37.9件
		延べ 455件	

(6) にこにこ教室の充実

新型コロナウイルス対策のため、大半を休止した。また、中央公民館が空調工事のため使用できなかったため、11月から12月までは、場所を商店街内の「清徳」に変更して実施。密を避けるために2部制とするなど、コロナ対策を徹底して行うことが出来た。新型コロナウイルス重症化及び感染のリスクが高い年齢層の集まりなので、細心の注意を払った。

事業名	実施(予定)日	人数等	内 容
にこにこ教室	毎週金曜日	延べ193名	健康体操やレクリエーションなど 中央公民館が空調工事のため使用できず、「清徳」にて開催。新型コロナウイルス感染対策のため、2部制として時間を短縮して行った。 (4月～10月及び1月～3月は休止)
	6月7日(日)	—	第45回よこいと運動会への参加；左記のとおり予定していたが、新型コロナウイルス対策のため、中止
	10月25日(日)	—	福祉まつりへの参加；左記のとおり予定していたが、新型コロナウイルス対策のため中止
	—	—	屋外教室：新型コロナウイルス対策のため中止
	—	—	健康教室：新型コロナウイルス対策のため中止

6 その他

(1) 筑豊ブロック市町村社協連絡協議会への参加

新型コロナウイルス対策のため、役員会等は主に書面による決議となった。令和3年度から事務局が田川市から行橋市に変更になる。

事業名	実施日	人数等	内 容
役 員 会	—	—	新型コロナウイルス対策の為、下記事項について書面決議を行った。(令和2年5月27日 同意書署名) 提案事項1 令和元年度事業報告及び決算報告について 提案事項2 令和2年度事業計画・予算案について 提案事項3 令和2年度総会について
	9月23日(水)	1名	田川スマイルプラザにて 1 令和2年度研修等について 2 懸案事項について
総 会	—	—	新型コロナウイルス対策のため、書面決議 (令和2年6月22日 書面議決書署名)
研 修 会	2月17日(水)	—	左記のとおり予定していたが、新型コロナウイルス対策のため延期

(2) 直鞍エリア社協連絡協議会事務局の運営

新型コロナウイルス対策のため、役員研修など、人が集まる事業が出来なかったが、地域担当者会議にて、在宅介護者の支援に関する意見交換を行った。令和3年度から事務局が直方市から宮若市に変更になる。

事業名	実施日	人数等	内 容
理 事 会	6月22日(月)	2名	1 令和元年度事業報告及び決算について 2 令和2年度事業計画及び予算について
担 当 者 会 議	7月28日(火)	1名	令和2年度直鞍エリア社協合同研修について
	9月11日(金)	1名	令和2年度直鞍エリア社協合同研修について
	3月25日(木)	1名	1 令和2年度事業報告及び決算について 2 令和3年度事業計画及び予算について

(3) 行政施策への参加・参画

事業名	実施日	人数等	内 容
直方市障がい者 施策推進協議会	10月12日(月)	1名	1 アンケート調査及びヒアリングにおける各施策の課題 2 第5次直方市障がい者福祉基本計画の骨子案について 3 令和3年度以降の障害サービスの見込数値について
直方市高齢者 保健福祉協議会	7月30日(木)	1名	1 第8期介護保険事業計画基本方針について 2 令和元年度実施の調査結果報告(概要) 3 直方市の現状分析 4 計画概要 5 第7期計画の進捗状況の報告
	9月24日(木)	1名	1 計画骨子案の検討 2 各種事業量の見込について 3 介護給付費の推計について 4 施設整備の検討

直方市地域福祉 計画策定委員会	10月2日(金)	1名	1 地域福祉計画の概要説明・国の動向について 2 直方市基礎統計 ほか
	12月18日(金)	1名	1 前回会議からの修正点について 2 第2次直方市地域福祉計画(案)について ほか

ひきこもり居場所 ボランティア講座

参加
無料

当日参加
可能

直方市社会福祉協議会は、ひきこもり防止支援事業の一環として、フリースペースを運営する予定です。そこで、フリースペースの見守りボランティアの募集を行うとともに、ひきこもり支援に関する講座を開催いたします。ひきこもりの支援やボランティア活動に興味のある方はぜひご参加ください。

- 場 所** ▶ ユメニティのおがた 会議室1・2
- 日 時** ▶ 令和3年1月24日(日)13時30分～15時30分
▶ 令和3年1月31日(日)13時30分～15時30分
- 対象者** ▶ ひきこもりの支援に興味のある方

※1日のみの参加も歓迎します。

※講座を受けられない方でボランティア活動に参加したい人もぜひご連絡ください。

講師プロフィール

1月24日 富田 伸 先生

医療法人富田醫院院長。家族療法を学び、ひきこもりの当事者やその家族に対して支援を行っている。久留米児童相談所の児童虐待事例検討委員やDV相談室のスーパービジョンを担当するなど地域でも幅広く活動している。

1月31日 三村 吉郎 先生

不登校・ひきこもりの経験者。福岡市こども総合相談センターでひきこもり居場所活動の非常勤スタッフを務める。現在は福岡市こども総合相談センターで子ども支援の先生や、ひきこもる方の自宅訪問支援を行いながら、悩みを抱える若者を支えている。

手話通訳
あります

新型コロナウイルス感染症対策のため、マスクの着用・手指消毒・検温にご協力お願いいたします。37.5度以上の発熱がある方については参加をご遠慮いただきますようお願いいたします。ご了承ください。

▶参加申込方法は裏面をご覧ください

問い合わせ・主催

社会福祉法人直方市社会福祉協議会

TEL : 0949-23-2551 FAX : 0949-23-2552

住所 : 福岡県直方市津田町7番35号

令和2年度 地域福祉セミナー

知るとできることがある ～児童虐待と里親制度～

近年、児童虐待の深刻化や増加が社会問題として大きく扱われています。

今年度は福祉セミナーの講師として、田川児童相談所の職員と、里親支援専門相談員を担っている児童養護施設の職員をお招きします。子供たちの命と権利を守ることを社会全体で意識し、虐待防止の啓発に繋げ、私たちに何ができるか考えるために、児童虐待や里親制度についてご講演いただきます。

どなたでも参加できますので、お気軽にどうぞ。



と き 令和3年 **3月20日**（土） 10時～11時30分

ところ ユメニティのおがた 会議室1・2（直方市山部364-4）

内 容 講演「知るとできることがある ～児童虐待と里親制度～」

対象者 内容に関心のある方（申し込みは裏面へ！）

講 師 ○田川児童相談所職員
○児童養護施設職員（里親支援専門相談員）

申込み 電話・ファックス・メールなどにてお申し込みください。

定 員 40名（緊急事態宣言中は30名）

主 催 社会福祉法人 直方市社会福祉協議会

参加費 100円

その他 新型コロナウイルス感染防止対策については、裏面をご覧ください。

手話通訳あり



【問い合わせ先】

社会福祉法人 直方市社会福祉協議会 地域係 古島

電話：0949（23）2551 ファックス：0949（23）2552

E-mail nogata-shakyo@fuga.ocn.ne.jp

